

1 レンニク

2 **生薬の性状の項を次のように改める。**

3 生薬の性状 本品は卵形体～楕円体で，一端には乳頭状の突起
4 があり，その周辺はへこんでいる．長さ1.0 ～ 1.7 cm，幅
5 0.5 ～ 1.2 cm，外面は淡赤褐色～淡黄褐色を呈し，突起部は
6 暗赤褐色を呈する．内果皮は艶がなく，剥離しにくい．内部
7 は黄白色の子葉からなり，中央部にある胚は緑色である．

8 本品はほとんどにおいがなく，味は僅かに甘く，やや油様
9 で，胚は極めて苦い．

10 本品中央部の横切片を鏡検（5.01）するとき，内果皮は柔
11 組織からなり，ときに脱落して見られないことがある．種皮
12 は表皮と圧縮された柔細胞からなる柔組織で形成され，柔組
13 織中に維管束が散在する．種皮の内側には子葉が見られる．
14 残存する内果皮中には，シュウ酸カルシウムの集晶及びタン
15 ニン様物質を含み，種皮の柔細胞中にはタンニン様物質を含
16 み，子葉の柔組織中にはでんぷん粒を含む．

17

18